【入学者選抜試験問題（数学）における出題の意図】

本学の入学者選抜試験（数学）における最も重要な目的は、数学Ⅰの範囲の計算と公式の利用に関する基礎的な知識が、時間を経ても定着しているかを確認することです。

形式的には、学習指導要領に基づいて数学Ⅰの範囲全体を 10 分野に分類し、1 問ずつ出題しています。これによって、特定の分野に偏ることなく、基礎の基礎となる計算スキルや公式の適用力を確認しています。特に、全ての問題が「数学的な発想力」を必要とせず、「公式を使って速く正確に計算できるか」を重視しています。

以上のように、基礎的な内容を習慣的に反復学習し、応用問題に取り組む前の土台（計算ミスをしない力、公式をすぐに思い出せる力）を身に着けた方を選抜することを目的としています。